
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.285 2021/10/2

1 ウェビナー「『培養肉』の環境負荷・社会的影響と日本の役割」について

細胞農業WT事務局である多摩大学ルール形成戦略研究所と、国際NGOのGood Food Institute (GFI) が標記ウェビナーを開催する。

<https://crs-japan.org/events/crs-gfi-cultivated-meat-webinar-october-15-2021/>

【概要】

細胞農業技術により生産される「培養肉」はタンパク質生産の新たなパラダイムと言え、サステナビリティ、消費者の思想信条に合わせた食の供給、公衆衛生、食文化の多様化と保存、食料安全保障など様々な側面において好影響を与えます。

本ウェビナーでは「培養肉」のコストと環境への影響を包括的に定量評価する「ライフサイクル評価」に関する最先端の研究結果の紹介を主軸に、急速に発展する細胞農業食品業界の現状と今後について議論を深めます。

【日時】

- ・令和3年10月15日（金）10:00～11:30（日本時間）

【開催方法・言語】

- ・オンライン（Zoom利用）
- ・日本語・英語（同時通訳有り）

【参加方法】

- ・以下のURLから参加登録して頂き、オンラインでご視聴いただけます。

TinyURL.com/JapanMeat